

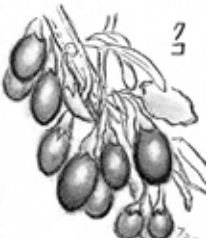


NO.883

2012.9.9

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F四三二四四五七



飯田議員 消防組合議会で 消防職員の給与削減に反対

8月28日網走市と大空町で構成する網走地区消防組合議会第1回臨時会が開催され、補正予算ほか2件の専決処分報告を審議し、網走市選出の飯田議員は、報告第1号「網走地区消防組合職員の給与の特例に関する条例制定に係る専決処分の報告」について、次の理由により反対しました。

「組合を構成する網走市の財政事情を考慮し平成24年4月1日から平成28年3月31日までの間、職員給与の減額措置をするもので、これに伴い、市の給与条例を準用する当組合は、同様の取り扱いとする必要があります。この条例を制定する」とあります。

この措置は、人事院勧告による削減や国家公務員給与特例法などを地方に波及させようとする中で、網走市が第三次行政改革で、5ヶ年で約27億円の収支不足が生じるとしていることから、歳入確保のため人件費の削減3.3億円を補おうとするものです。

しかし、第一次、第二次行政改革では、市職員数の削減に積極的に行き組み、128人となり、現在は359人と少数精鋭とも言える臨戦態勢で行政サービスを行っている状態です。これは常備消防力体制にも少なからぬ影響を受けていると言わざるを得ないのです。

このことは、ぎりぎりの体制でまがりなりにも最低限の市民サービスを遂行



松浦奮戦も

1日の午後から2日の午前中まで、道東3民商交
流会があり、十勝川温泉
に行ってきました。

民商は、中小零細企業の事業主が集まって経営を守るため税金の学習や消費税増税反対の取り組みなどをして頑張っている団体です。年に一度、北見、十勝、釧路の民商が交代で交流会を受け持っています。

今年の講演は「改正国税通達法」についてで、元国税調査官で税理士の岡田俊明氏でした。民商は、これまで国税通達法が改正されれば「予告なしで調査をされるのではないか」「強権的調査が増えるのではないか」などとして、反対していました。講演を聴くと確かに厳しいこともあるが、税務署の職員も事前通知手続きの制定で、10項目の通知が必要になり逆に大変だ。

「法律は税を徴収する側と納税者とは、解釈が違うもの。納税者の解釈を主張して闘うことが大事だ」とのこと。勇気の出るお話でした。

いっせ東奔西走

9月議会が始まります。今回は、集中豪雨対策、自転車の歩道通行、学校図書整備の質問ですが、地域住民の方々の切

実な要望をしっかりと質問に生かして頑張ります。今議会開会中に平成23年度の決算委員会も行われます。閉会は10月1日ですから会期は1ヶ月近くになります。

決算委員会は、決算の諸結果が次年度の予算編成に生かすことを念頭に行われます。さらに、決算はもうすんでしまったことだからということ、ややもすると軽視される傾向もあります。単に会計処理上のミスがなければそれで良いではなく、1年間の財政支出の傾向をつかむと同時に、市民のためにどのような施策をやってきたのか点検していく監視機能としてはここが力の発揮どころです。

網走市の議会は決算特別委員会を設置し、そこに付託されて審議する方式ですが、予備日をいれての4日間は大変厳しい日程です。今回は松浦議員が決算審査にあたりますが、資料請求と政策的視点をしっかりとって議員団として頑張りたいと思います。

流水

8月末に、北海道の小選挙区予定候補と政府交渉をおこないました。紙智子・大門実紀史の両参議院議員も同席してくれまし

た▼介護保険では、生活援助の時間が短くなったために必要なサービスを受けられなかったり、ヘルパーさんが目も回るような忙しさでこなしていく、という現状があります。しかし、厚労省からは「限られた人材を活用するうえでは、時間の短縮が効果的」という耳を疑うような回答▼人材が限られているのなら、増員するのが政治の役割です。あまりの官僚答弁に「現場を見に来なさいよ!」と、参加者一同から怒りの声が上がりました▼要求実現へ、前進したのもありました。精神障がい者の乗り合いバス運賃補助を盛り込む「標準約款」を、国交省が改定したのです。財源を地方自治体に求める政府の対応に「他省とも連携して税で措置する道もあるのでは」と提案し、「前向きに検討します」との回答もいただきました。この続きは、私が国会議員として取り組まなければと決意しています▼他党の地方議員らが政府へ要請と言うと、頭を下げる「陳情」型が多いそうですが、日本共産党はしっかりと議論もして交渉するという点で大きな違いがあります。政局を見てフラフラする国会議員が多い中、国民の立場を貫く日本共産党の出番です。



はたやま和也

「かけある記」